

#### 4. 看護婦・助産婦業務〔帝王切開時〕（1例を示します）

手術室は大きい部屋を使用する。

大きな部屋が無い場合には隣接した手術室を新生児用に準備する。

##### （i）手術前の室内準備作業

###### チェック欄

- 手術室担当看護婦と病棟看護婦双方による必要準備品の確認作業
  - 手術室の床を防水シートにて覆いつくす
  - 手術台、患者の足台、腕受け台はすべて防水シートで覆う
  - ケリーパットはビニール袋で覆う
  - ディスポーザブル吸引びん（フィットフィックスなど）を使用する
  - 履物の洗浄用の消毒液（テキサント® など）を入口に用意する

##### （ii）手術室内使用物品の準備

###### チェック欄

- ディスポーザブルガウン，頭布，防水足袋，手袋
- 外まわり用看護婦用足袋
- フェイスシールド（ゴーグル）
- 見学者用ガウン
- フェイスシールド付ディスポーザブルマスク
- ディスポーザブルコンプレッセン
- モニター類
- 酸素マスク，パイプ
- 腰椎麻酔器具一式
- 挿管セット，吸引チューブ等
- 吸引器，嗜管，吸引用バッグ
- 外陰部消毒用腔鏡，バルーンカテーテル
- 使用済み機械入れバケツ
- MDボックス，ゴミ袋
- ドレープ類（ポケット付き）
- 帝王切開用手術器械

チェック欄

- メス3本, 針50本程度
- メイヨー板 (器械置き台), 持針器用膿盆
- 針・メス廃棄用アルコール入りポット
- 手洗い用アルコール入りペースン
- 胎盤用膿盆, メジャー
- 臍帯血・羊水用注射器, 針, 試験管
- 胎盤保存用容器
- 保存血1000ml

- インファントウォーマー: ディスポーザブルシートで器具全体を覆う。  
更に防水ディスポーザブルシートを敷き、児を置く。  
使用後は噴霧消毒 (ヒビスコール® など) する。

- クベース: 移動用クベースは使用しない。  
あらかじめ NICU への転床が決まっていれば小児科よりのクベースを使用する。

新生児受け取り用物品

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 清潔野シート, ガーゼ, 綿球              | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 臍帯剪刀, コッヘル |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ドップラー胎児聴診器                   | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ゴム手袋2枚     |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> サクションボール                     | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 新生児用聴診器    |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 生食200ml                      | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 蒸留水500cc   |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20cc注射器5本                    |  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ポリビニールアルコール沃素液 (消毒用イソジン® など) |  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 胃洗浄用チューブ                     | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> メジャー       |

チェック欄

新生児蘇生用物品

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 喉頭鏡                      | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 気管内捜管チューブ  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> スタイレット                   | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 気管内吸引カテーテル |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 蒸留水                      | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 滅菌コップ      |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> タコ管                      | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> キシロカインゼリー  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 静脈カテーテル                  | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> オハイオパック    |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ジャクソンリース                 | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 20cc注射器    |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 21G針                     | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 5%糖20ml    |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緩衝液（メイロン® など）            |  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 絆創膏（ダーミクリア®、エラスチコン®），針と糸 |  |

沐浴用物品

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 清拭                          | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 次亜塩素酸ナトリウム（ミルトン® など） |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 沐浴槽2槽                       | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> やかん                  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 湯温計                         |  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ポリビニールアルコール沃素液（イソジン点眼薬® など） |  |
| <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 極細綿棒10本                     | <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 肛門体温計                |

## 5. 手術時の服装

### ○術者、助手、待機医師

[手洗い前] ディスポーザブル頭布  
防水足袋

[手洗い後] ディスポーザブルガウン  
フェイスシールド  
手袋を二重に着用

### ○直接看護婦、助産婦、小児科医

[手洗い前] 防水足袋

[手洗い後] ディスポーザブルガウン  
フェイスシールド付ディスポーザブルマスク  
手袋を二重に着用

### ○麻酔医、間接看護婦、介助用看護婦

防水足袋

ディスポーザブルガウン

フェイスシールド付ディスポーザブルマスク

処置時は手袋を着用

### ○その他見学者

見学用ディスポーザブルガウン

見学用足袋

ディスポーザブルマスク

### \*注意点

- ・すべての処置は両手に手袋を着用して行う。
- ・手術が終了したら、防水シーツの汚染している場所を新しい防水シーツで重ねて覆い、そのシーツの上で処置をする。
- ・手術関係者が退室するときは着用ガウン、足袋は出口で脱いでから退室する。
- ・術中の手術室への出入りを禁止する。

## 6. 手術室での新生児処置

### ○ 沐浴の準備

- ・ 沐浴槽は2槽を使用。
- ・ やかんにお湯を沸かす。（さし湯のため）
- ・ 一つの沐浴槽には温めた0.1%次亜塩素酸ナトリウムを、もう一つの沐浴槽にお湯を入れる。
- ・ 沐浴時38℃になるように熱めのお湯、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを準備する。

### ○ 新生児受け取り（低体温にならないように注意）

- ・ 手洗いをし、マスク付ディスポーザブルガウンを着用、手袋を2重につける。
- ・ 新生児受け取り用コンプレッセンをひく。
- ・ 自動吸引カテーテルの確認をする。
- ・ 保温された0.1%次亜塩素酸ナトリウムを膿盆に入れておく。
- ・ 児受け取り後、すばやく全身の血液を拭きとり、0.1%次亜塩素酸ナトリウムで清拭する。
- ・ 臍帯は長めにしておく。（臍静脈カテーテルを挿入するため）
- ・ 0.1%次亜塩素酸ナトリウムで沐浴後、湯で沐浴する。（薬液の除去）
- ・ ポリビニールアルコール沃素液（イソジン® など）点眼液にて点眼。  
耳、鼻、口腔内をポリビニールアルコール沃素液消毒する。
- ・ 落ち着いたらできるだけ早い時間に、温めた生理食塩水を用いて胃洗浄を行う。
- ・ 低出生体重児のため NICU へ入室のこともあるが、落ち着いたら産科病棟新生児室に転入となる。

## 7. 手術室のあとかたづけ

- 手術器具類： 消毒液（ハイパール® など）で血液を完全に洗浄後、120℃ 30分間洗浄滅菌する
- 剪刀類： 消毒が必要なものは血液を消毒液で拭き、刃物類であることを分かりやすくし、ひとつにまとめておき、消毒液（ハイパール® など）で血液を完全に洗浄後、消毒液（サイデックス® など）に20分間浸す
- 麻酔器具マスク： 消毒液（テキサント® など）に30分間浸す
- 呼吸器回路用蛇管： 消毒液（テキサント® など）に30分間浸す
- 喉頭鏡： 消毒液（テキサント® など）に30分間浸す
- バイドブロック： 消毒液（テキサント® など）に30分間浸す
- 患者尿： ディスポーザブル吸引びん（フィットフィックスなど）にて吸引
- 胎 盤： 計測し、検体を採取後、二重の感染症ビニール袋に入れ、薬液を注入し破棄する。
- 沐浴槽： 次亜塩素酸ナトリウムにて消毒する。
- 沐浴水： 消毒液（テキサント液® など）を入れ30分放置し、汚物処理室の排水口より破棄し、その後水道水を充分量流す。
- 室内： 防水シーツの汚染部位は床に接しないように除去する  
床に血液付着部位があれば、消毒液（テキサント液® など）に30分間浸す。その後、消毒液（ハイパール® など）にて清拭する。

- ♪ 持ち込み物品のうち、沐浴槽、インファントウオーマーは、そのまま手術室に残して、オゾン滅菌後、病棟へ戻す。

## 8. 母体術後看護の留意点

### ○処置

- ・内診、ガーゼ交換は室内で行う。
- ・血液汚染物は感染用ビニール袋にいれ、使用器具はアルコールガーゼで清拭後、自室内の消毒液（サイデックス® など）に浸漬。その後、滅菌。
- ・体温計、血圧計、氷枕は病棟の物を使用。血液付着時はアルコールで消毒。
- ・剃毛には除毛クリームを用いる。
- ・処置経過上、血液や体液で汚染する恐れのあるとき（例：点滴ルート詰まりをポンピングしようとして血液がはじく恐れのあるとき等）には、ガウン、手袋、シールド付マスクを着用する。

### ○その他

- ・清拭： 自室内の洗面所にて自分のタオルを使用する。病棟の物を使用の際は浸漬 消毒（ハイパール® など）後、可溶性ナイロン袋に入れ病棟外出す。陰部はディスポーザブルガーゼを使用する。
- ・シャワー： 自室で行う。器具の使用後は、熱湯をかけたあと、消毒（ハイパール® など）。
- ・シーツ交換：シーツは他のシーツと区別できるようにする。
- ・衣類交換： 血液、体液汚染のないものは、普通に持ち帰り洗濯する。下着などで、血液汚染したものは浸漬消毒（ハイパール® など）後、家人にわたす。
- ・排泄： 室内トイレを使用する。血液が器具に付着した場合、消毒液（ミルトン® など）にて清拭。
- ・洗面： 自室の洗面所を使用する。口腔内出血のある場合には注意する。
- ・ゴミ： 普通のゴミは一般のゴミとして処分する。
- ・食事： 他の入院患者と同様。
- ・行動範囲： 出血による汚染の心配がない場合は自由。面会制限は特にないが、プライバシーの保護に留意する。
- ・授乳： 自室でピン哺乳を行う。希望があれば授乳室でも良い。

## VIII. 母乳を止める意義と方法

母乳には HIV が含まれるので、母乳による哺育がきわめて危険であることを、十分に母親に説明し、人工栄養を勧める。

### ○ 止乳に使われる薬剤

- ・テルグリド (テルロン® Teluron® 錠0.5mg)

注 意 : 産褥性乳汁分泌の抑制に投与する際には、分娩後、呼吸、脈拍、血圧等が安定した後、投与する。また、投与中 (特に投与初日) は観察を十分に行い、血圧上昇、頭痛、中枢神経症状等が現れた場合には、直ちに中止する。

- ・メシル酸プロモクリプチン (パーロデル® Parlodel® 錠2.5mg など)

注 意 : 産褥性乳汁分泌の抑制に投与する際には、分娩後、呼吸、脈拍、血圧等が安定した後、投与する。また、投与中 (特に投与初日) は観察を十分に行い、血圧上昇、頭痛、中枢神経症状等が現れた場合には、直ちに中止する。

相互作用 : HIV プロテアーゼ阻害剤との併用では、CYP3A に対する競合的阻害によりメシル酸プロモクリプチンの代謝が阻害され、メシル酸プロモクリプチンの作用が増強されるおそれがあるので、その副作用の発現には十分な注意が必要である。



## IX. 新生児への AZT 予防投与

生後 8～12 時間までに AZT の経口投与（ジドブジンシロップ 2 mg/kg を 6 時間毎）を開始し、生後 6 週まで継続する。

経口投与できない児では、注射薬 1.5 mg/kg を 6 時間毎に経静脈投与する。

なお、ジドブジンシロップの入手方法については 16 ページを参照のこと。

## 追記

### 1. HIV 針刺し事故時の対処

- ・針刺し後の HIV 感染防止のための予防服用マニュアル  
(国立国際センターエイズ治療研究開発センター作成のマニュアルから抜粋、一部改変)

- 1) 直ちに創部を水洗いし、血液を絞り出す。
- 2) HIV 感染管理責任者に事故発生への報告。
- 3) 可能な限り早期に HIV 抗体、HB-s 抗原のチェック。同時に血清 1 ml 保管。  
以後は HIV 抗体について、1 ヶ月後、3 ヶ月後、6 ヶ月後に検査。

#### 4) 標準的な薬剤の服用方法

・ AZT (レトロビル)	600 mg	3 回	毎食後
・ 3TC (エピビル)	300 mg	2 回	朝・夕食後
・ IDV (クリキシバン)	2400 mg	3 回	毎食後
ないし NFV (ピラセプト)	2250 mg	3 回	毎食後

第 1 回目は必ず 3 剤をできるだけ速やかに (少なくとも 1～2 時間以内) 服用し、服用期間は 1 ヶ月間。

#### 5) 対象者が女性の場合

妊婦に投与した場合の安全性、特に妊娠初期での胎児への安全性は確認されていない。従って、妊婦が服用を決意するには十分な自己決定が不可欠 (HIV 感染の危険性 (感染リスクは 0.3～0.5%) と、母子への薬の危険性の比較衡量)。また、対象者が妊娠していなかった場合には、予防薬を服用する対象者に対して、少なくとも 4 週間は避妊するように勧告。

#### 6) 服用の意義

針刺し事故などで HIV 汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、最も高い場合でも0.5～0.3%とされている。B 型肝炎や C 型肝炎の同様の事故の場合の感染リスクにくらべ、それぞれ1/100～1/10と低い。

しかし、感染リスクは0%ではなく、1000回に事故につき3～5人は感染するということを意味している。しかも、今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されてはいない。一方、感染直後に AZT を服用することで感染のリスクを約80%低下させ得ることが示された。今回奨めている3剤であれば、さらに効果的であろうと考えられる。

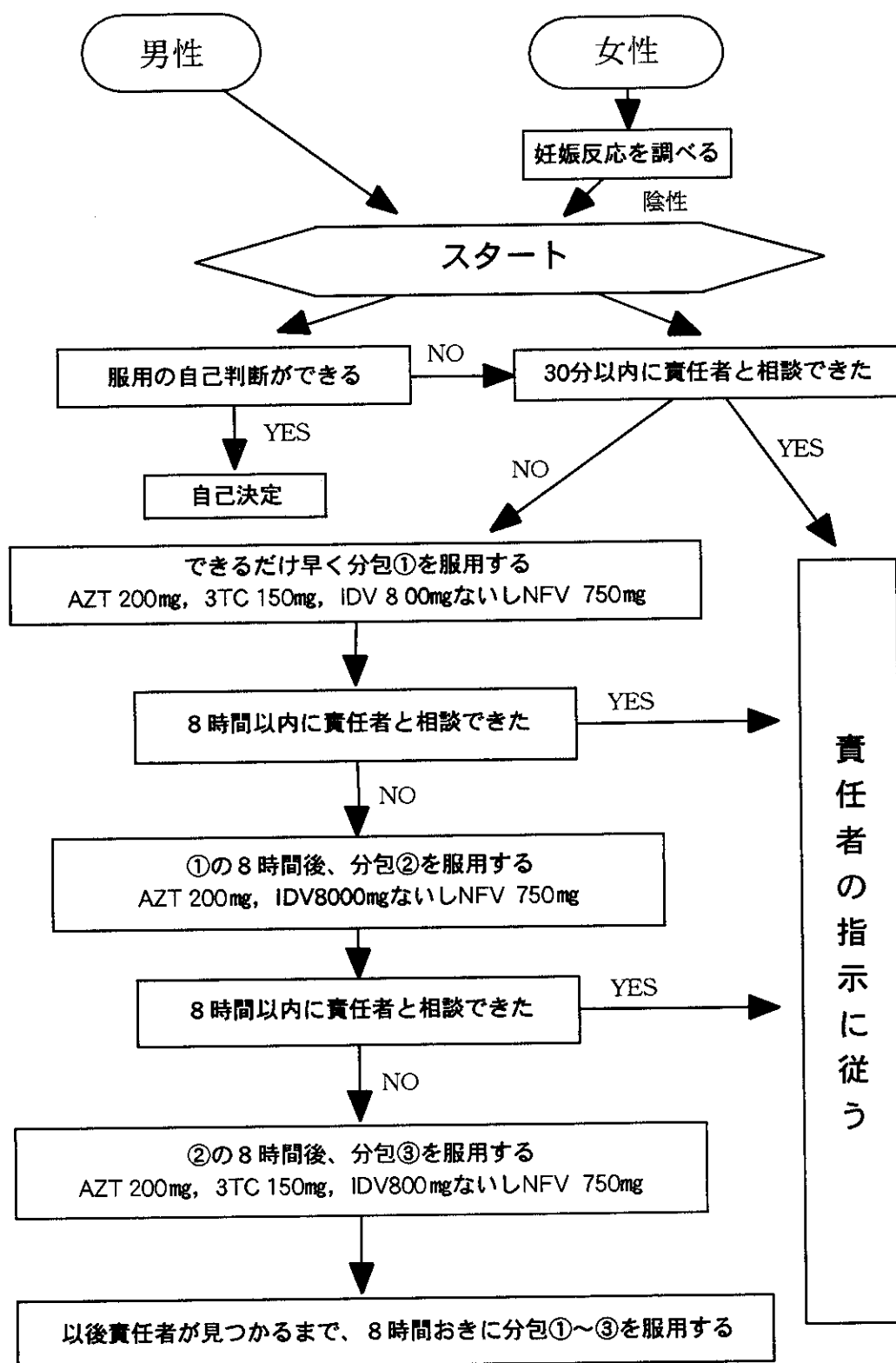
#### 7) 服用にあたっての注意点

感染予防の効果をあげるためには、事故後できるだけ早く、できれば1～2時間以内に予防薬を服用することが必要である。このため、専門家に相談できる前に自己判断で服用を開始せざるを得ない場合もある。どうしていいかわからない場合、妊娠の可能性がなければ、とりあえず第1包めを服用することを勧める。

#### 8) 国立国際医療センターエイズ治療研究開発センターへの問い合わせ

〒162-8640 新宿区戸山1-21-1  
国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター  
<http://www.acc.go.jp/accpage/hari.htm>  
臨床研究開発室長 岡 慎一

HIV 抗体陽性もしくは非常に強く陽性が疑われる患者の医療行為時に針刺しをした



## 2. MSWによる非定住外国人妊婦の援助（1例を示します）

### ○分娩前

#### 1. パートナーが日本人の場合

日本残留を目指す場合；保険加入、および合法的滞在を目指す

- ・パートナーに対し、婚姻意志の確認
- ・パートナーに対し、児の養育意志を確認
- ・外国人妊婦が国籍を取得するための援助
- ・法的婚姻関係を成立させるための援助
- ・胎児認知についての説明（法的婚姻関係が成立する以前に分娩となる可能性が高い場合）
- ・在留特別許可申請の援助
- ・出産費用の概算説明
- ・支援グループ（NGO）と参考資料の紹介

#### 2. パートナーも非定住外国人の場合

日本残留を目指す場合；保険加入、および合法的滞在は困難

- ・帰国を勧める
- ・出産費用の概算説明
- ・養育医療取得の可能性を探る

### ○分娩後

- ・出生届の提出
- ・児の保険証加入
- ・母親の在留特別許可申請
- ・医療費納付状況の確認
- ・養育医療取得の可能性

### 3. 医療情報の入手先と支援団体

#### 1. HIV/AIDS 関連のウェブサイト

- 1) 厚生省 : <http://www.mhw.go.jp/index.html>
- 2) 国立感染症研究所 : <http://www.nih.go.jp/>  
感染症情報センター : <http://idsc.nih.go.jp/>  
病原微生物検出情報 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/>  
感染症発生動向調査 : <http://idsc.nih.go.jp/kanja/idwr/idwr-j.html>
- 3) 国立国際医療センター/エイズ治療・研究開発センター : <http://www.acc.go.jp/accmenu.htm>  
エイズ動向委員会報告 : [http://www.acc.go.jp/mhw/mhw\\_survey/m](http://www.acc.go.jp/mhw/mhw_survey/m)
- 4) 厚生省・エイズ治療薬研究班 : <http://www.ijnet.or.jp/aidsdrugmhw/>  
(FAX 情報サービス : 03-3342-6171)
- 5) The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS (UNAIDS) : <http://www.unaids.org/>
- 6) World Health Organization (WHO) : <http://www.who.org/>
- 7) Centers for Disease Control and Prevention (CDC) : <http://www.cdc.gov/>  
CDC National Prevention Information Network (NPIN) : <http://www.cdcpin.org/>  
CDC-Divisions of HIV/AIDS Prevention : [http://www.cdc.gov/nchstp/hiv\\_aids/dhap.htm](http://www.cdc.gov/nchstp/hiv_aids/dhap.htm)  
CDC Trends in the HIV and AIDS Epidemic : <http://www.cdc.gov/neshstp/ad/Trends.htm>  
Morbidity Mortality Weekly Reports (MMWR) : <http://www2.cdc.gov/mmwr/>  
HIV/AIDS Treatment Information Service : <http://www.hivatis.org/index.html>  
Treatment Guidelines : <http://hivatis.org/guidelines/perinatal/PerinatalFeb2500.pdf>
- 8) National Institutes of Health (NIH) : <http://www.nih.gov/>  
NIAID Division of AIDS : <http://www.nih.gov/research/daids.htm>
- 9) National Library of Medicine (NLM) : <http://www.nlm.nih.gov/>  
HIV/AIDS Information : <http://sis.nlm.nih.gov/fdahomepage.html>
- 10) Food and Drug Administration (FDA) : <http://www.fda.gov/fdahomepage.html>
- 11) National Center for Biotechnology Information (NCBI) : <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/>

- 12) American Medical Association (AMA) : <http://www.ama-assn.org/>
- 13) EuroSurveillance (EuroHIV) : <http://www.ceses.org/eurosurv/>
- 14) AIDS/HIV-Doctor's Guide to the Internet : <http://www.pslgroup.com/AIDS.HTM>
- 15) Continuing Medical Education(CME) :  
<http://hiv.medscape.com/Home/Topics/AIDS/directories/dir-AIDS.ClinMgmt.html>
- 16) HIV inSite Home (UCSF) : <http://hivinsite.ucsf.edu/>  
HIV inSite Pregnancy and Childbirth :  
[http://hivinsite.ucsf.edu/topics/pregnancy\\_and\\_childbirth/](http://hivinsite.ucsf.edu/topics/pregnancy_and_childbirth/)  
Reproduction and HIV Disease: Pregnancy and Perinatal Care of HIV-1 Infected Woman :  
<http://hivinsite.ucsf.edu/akb/1997/04preg/index.html>
- 17) Harvard AIDS Institute : [http://www.hsph.harvard.edu/Organizations/hai/hai\\_res.html](http://www.hsph.harvard.edu/Organizations/hai/hai_res.html)
- 18) UCLA AIDS Institute : <http://www.medsch.ucla.edu/aidssinst/>

## 2. 医療従事者向け情報提供団体

### 1) 厚生省 HIV 疫学研究班：母子感染に関する研究グループ

グループ長 戸谷良造（国立名古屋病院産婦人科）

[活動内容] 母子感染に関する医療情報提供

[連絡先] 〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1

Tel: 052-951-1111 (代) Fax: 052-951-0664

### 2) 財団法人エイズ予防財団

[活動内容] 電話相談（医療情報，一般）

予防啓発事業

研修・研究事業

[連絡先] 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-23-11 寺山パシフィックビル4 F

Tel: 0120-177-812 (月～金, 10:00～13:00, 14:00～17:00)

### 3) HIV/AIDS 看護研究会 (JANAC)

[活動内容] 看護職向け情報提供

啓発活動

[連絡先] 〒233-8691 横浜市港南郵便局私書箱52号 HIV/AIDS 看護研究会

Fax: 045-823-2557 E-mail: janac@yahoo.co.jp

(事務局を設置していないため、問い合わせは FAX か E-mail で)

### 4) HIV ソーシャルワーカーネットワーク

[活動内容] ソーシャルワーカーに関する情報提供

[連絡先] 〒289-2511 千葉県旭市イ-1326 旭中央病院医療相談室気付

Tel: 0479-63-8111 (代) Fax: 0479-63-8580



### 3. HIV 陽性者支援団体

#### 1) AIDS & Society 研究会議 HAIN プロジェクト (HIV/AIDS Information Network project)

[活動内容] HIV/AIDS にかかわるサービスを提供する団体の情報提供

[連絡先] 〒162-0045 東京都新宿区馬場下町60 マンション早稲田401

Tel/Fax: 03-3950-8422

#### 2) ぷれいす東京 (Positive Living And Community Empowement TOKYO)

[活動内容] 対面や電話での相談

女性陽性者のミーティング

Safer Sex Guide Book for Woman

英語, スペイン語などの通訳

[連絡先] 〒161-0033 東京都新宿区下落合4-30-23 テラス高田馬場203

サービスに関する問い合わせ専用 Tel: 03-3361-8964 Fax: 03-3950-8422

(月~金/12:00~19:00)

HIV 陽性者専用の電話相談 Tel: 03-3361-8903

(木/12:00~19:00, 金/17:00~20:00)

#### 3) HIV と人権・情報センター (JHC)

[活動内容] 電話相談

サポート活動

感染者の会 など

[連絡先] ・東京支部

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-2-2 吉田ビル2F

問い合わせ専用 Tel: 03-5259-0622 (月~金/10:00~18:00)

電話相談専用 (東京都委託事業) Tel: 03-3292-9090

(月~木/9:00~21:00, 金/9:00~18:00)

・大阪支部

〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-3-3 天馬パークハウス705

問い合わせ専用 Tel: 06-6882-7800 (月~金/10:00~18:00, 水曜休み)

電話相談専用 Tel: 06-6882-0102 (土・日/13:00~18:00)

#### 4) ライフ・エイズ・プロジェクト (LAP)

[活動内容] 医療・福祉に関する電話相談

LAP ニュースレターの刊行

[連絡先] 〒100-8691 東京都東京中央郵便局私書箱490号

問い合わせ Tel: 03-5685-9644 (月~金/14:00~18:00)

電話相談 Tel: 03-5685-9644 (土/16:00~19:00)

5) AMDA 国際医療情報センター東京

[活動内容] 在日外国人に対する電話による医療情報提供  
電話による通訳

[連絡先] 問い合わせ専用 Tel: 03-5285-8086 (月～金/9:00～17:00)

電話相談専用 Tel: 03-5285-8088 (9:00～17:00)

英語, 中国語, ハンガール語, タイ語, スペイン語: 月～金

ポルトガル語: 月・水・金

ペルシャ語: 月

フィリピン語: 水

6) AMDA 国際医療情報センター関西

[活動内容] 在日外国人に対する電話による医療情報提供  
電話による通訳

[連絡先] 〒556-0000 大阪府大阪市浪速区 浪速郵便局留め

問い合わせ専用 Tel: 06-6636-2333 (月～金/9:00～17:00)

電話相談専用 Tel: 06-6636-2333 (9:00～17:00)

英語, スペイン語: 月～金 その他

7) 京都 YWCA 若者・女性と HIV/AIDS プロジェクト (PAN)

[活動内容] 感染者・患者に対する配食サービス

在日外国人感染者・患者サポート

\* 通院通訳、在留資格などの相談

(対応言語: 英語・タイ語・タガログ語)

\* 京都 YWCA・Asian People Together (在日外国人対象の電話相談を行う  
ボランティアグループ) との協力による

[連絡先] 〒602-8019 京都市上京区室町通水上ル

Tel: 075-411-1348 Fax: 075-431-0351

通院通訳、在留資格等の相談 (APT)

Tel: 075-451-6522 (月/15:00～18:00, 木/15:00～20:00)

相談専用 Tel: 075-414-3747 (月/19:00～21:00)

8) 国際保健協力市民の会 (SHARE) (シェア)

[活動内容] タイ語によるエイズに関する相談

必要に応じて会員による英語・タイ語通訳

[連絡先] 〒112-0004 東京都文京区後楽2-20-18 掛川ビル101

Tel: 03-5800-4778 Fax: 03-5800-4779

タイ語による電話相談: 070-5207-6953 (土/17:30～20:30)

9) 仏教国際協力ネットワーク (アーユス)

[活動内容] タイ語通訳の派遣

[連絡先] 〒135-0024 東京都江東区清澄3-4-22

Tel: 03-3820-5831 Fax: 03-3820-5832 (火～土/10:00～18:00)

10) ハンドインハンドちば

[活動内容] 在日外国人のための電話相談

[連絡先] 問い合わせ Tel: 043-224-2154

電話相談 Tel: 043-224-2154 (月・木/12:00～17:00)

11) 日本キリスト教婦人矯風会 女性の家 HELP

[活動内容] 緊急避難を必要とする女性の受け入れ

日本語・英語・タイ語・タガログ語・中国語などによる電話相談

[連絡先] 電話相談 Tel: 03-3820-5831 (月～土/10:00～17:00)

12) かながわ・女のスペース“みずら”

[活動内容] 女性による女性のための電話相談 (福祉、法律など)

女性のためのシェルター

タイ語・中国語・ハンガル・ポルトガル語・スペイン語などの通訳

[連絡先] 〒221-0057 神奈川県横浜市神奈川区青木町2-1-603

問い合わせ専用 Tel: 045-451-3776 (月～金/9:00～21:00)

電話相談専用 Tel: 045-451-0740

(月～金/9:00～21:00, 土/14:00～17:00, 日/14:00～21:00)

13) 女性の家“サーラー”

[活動内容] 外国人女性のための緊急一時避難所

外国人女性のための電話相談 (福祉、法律など)

タイ語の通訳

[連絡先] 〒221-0057 神奈川県横浜市青葉郵便局私書箱13号

問い合わせ専用 Tel: 045-901-3527

電話相談専用 Tel: 045-901-3527 (11:00～18:00)

日本語・英語・タイ語: 月～金

スペイン語: 月・水・金

## X. 母子感染検査材料輸送マニュアル

### 目次

検査についての説明と同意	39
検査項目	41
国立感染症研究所での ウイルス学的検査の方法・意味及び意義	42
母子感染検査用検体送付における注意事項	
血液	45
組織材料、羊水	47
検体輸送	48
採血スケジュール	49
検体送付用紙（用紙 1～4）	50
新生児・小児における診断基準	56
結果送付	57

国立感染症研究所・エイズ研究センターでは、HIV 感染妊婦の妊娠経過中、および分娩後の免疫機能の変動とウイルス動態を解析することにより、母子感染のメカニズムを明かにし、ウイルス学的、臨床的リスクファクターの分析を行なっています。本邦の HIV 感染妊婦における母子感染の研究は、主に疫学調査によるレトロスペクティブな報告がされていますが、欧米と比較し HIV 感染妊婦が極めて少なく、妊娠中の抗体検査スクリーニングが普及していなかったこともあり、妊娠初期からの十分なデータの集積がなされていません。一方、欧米では既に母子感染のリスクファクターの解析についての報告が多数認められ、HIV 感染妊婦への AZT 投与による母子感染率の低下も報告されています。しかし、感染経路や時期についての詳細なメカニズムについては未だに定説はありません。

近年の我が国における HIV 感染者報告数の増加、さらに今後の妊婦に対する HIV 抗体検査の普及により、HIV 感染妊婦の増加と顕性化が予測され、分娩前後における母子感染防止対策だけでなく、妊娠初期からの精査、および治療が必要になると考えられます。妊娠中における HIV のウイルス学的動態と母子感染のメカニズムを解析することは、HIV 感染妊婦の病態進行を抑制し、さらには HIV 垂直感染の減少に役立ちます。

検査に必要な輸送費、および検査費は全て当研究グループでの負担とし、無料で抗体検査、ウイルス量、血球計算、薬剤耐性の有無の結果を国立感染症研究所・エイズ研究センターより返却いたします。安全に検体を送付していただくために、本マニュアルを参照していただき、感染妊婦およびその児の検体をご提供くださいますようお願いいたします。